除草剤
イマゾスルフロン・オキサジクロメホン・ピラクロニル粒剤

サラブレッドKAI®400FG

農林水産省登録　第２４３９３号
（協友アグリ（株）登録）
性状：淡褐色粒状
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物 ：非該当
有効年限：５年
包装：400g×20、4kg

有効成分：イマゾスルフロン（化管法第１種）・・・２.２５％
オキサジクロメホン・・・・・・・・・・・0.７５％
ピラクロニル・・・・・・・・・・・・・・5.0％

除草剤分類　２，３０，１４

サラブレッドKAI®は協友アグリ（株）の登録商標です。

特長

○多くの水田雑草に対して、効果発現が早く、枯らす力のあるピラクロニルを含有した製剤です。ノビエに安定した効果を示し、SU抵抗性雑草にも効果のある一発処理除草剤です。自己拡散型の製剤で、畔からの散布やドローンでの散布で散布労力の低減が期待できます。

適用雑草名及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	１０アール当り使用量	使用方法	本剤の使用回数	イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ	移植直後～ ノビエ２.５葉期 但し、 移植後３０日 まで	４００ｇ	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機散布	１回	２回以内	２回以内	２回以内
直播水稲	一年生雑草及び ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲１葉期 ～ ノビエ２.５葉期 但し、 収穫９０日前 まで	４００ｇ	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機散布	１回	２回以内	２回以内	２回以内

使用上の注意事項

●使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
●本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、 ノビエの２.５葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリは２葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、オモダカ、クログワイは発生前から発生始期まで、コウキヤガラは発生始期までが本剤の散布適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のものまで十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
●使用に当っては、水の出入りを止め５～６cmの湛水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも３～４日間は通常の湛水状態を保ち、散布後７日間は落水、かけ流しはしないでください。
●湛水散布の場合は田面に散布し、また湛水周縁散布の場合は水田周縁部に帯状に散布してください。
●藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。
●浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
●著しい降雨が予想される場合には除草効果が低下するおそれがあるので、使用を控えてください。
●空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

薬害

●軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田および砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
●直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
●本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
●いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。
●本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。

安全使用上の注意事項

●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

水産動植物に係る注意事項

●水産動植物（藻類） に影響を及ぼすので、河川、 養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
●散布後は水管理に注意してください。
●無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
●散布器具および容器の洗浄水は、 河川等に流さないでください。 また、 空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

●密栓し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。